

予防接種で防ぎましょう！

風疹の流行が、昨年から一部の自治体を中心に続いています。今年に入ってからは関東地域で患者報告が多くなっています。富山県内では今のところ流行していませんが、油断はできません。

●風疹とは？

風疹ウイルスによっておこる急性の発疹性感染症です。潜伏期は 2～3 週間で、主な症状として**発疹、発熱、リンパ節の腫れ**が認められます。

風疹ウイルスは患者の飛沫（唾液のしぶき）などによって他の人にうつります。従来、子ども（1～9 歳頃）に多く発生が見られましたが、**近年は多くが成人男性**となっています。

●妊娠中は気を付けて

妊娠、とくに妊娠初期の女性が風疹にかかると、赤ちゃんにも感染し、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気がある、発達がゆっくりしているなど「先天性風疹症候群」という病気にかかってしまうことがあります。

●予防接種で防ぎましょう！

風疹は予防接種で予防できる感染症です。

- 予防接種法に基づく麻疹風疹(MR)ワクチンは、今年度は右の方を対象に行われています。お子さんが対象となる年齢に達した際は、なるべく早い時期にワクチンを受けて下さい。
- 妊娠を希望される方や妊娠する可能性の高い方は、あらかじめ予防接種で風疹に対する免疫を付けておくことが重要となります。（妊娠中は風疹の予防接種が受けられません。）
- **本人だけでなく周囲の人も予防接種で免疫を付けて、妊婦を風疹の感染から守る**ことも大切です。家族で風疹にかかったことがない方、風疹の予防接種を受けていない方、どちらも不明な方は、是非とも予防接種をご検討ください。
※特に昭和 54 年 4 月 2 日～平成 7 年 4 月 1 日生まれの男女は接種率が低く、昭和 54 年 4 月 1 日以前生まれの男性は子どもの頃に定期接種のチャンスがありませんでした。
- 大人が風疹にかかると発熱や発疹の期間が子どもに比べて長く、関節痛がひどくなる場合があります。**風疹の重症化を予防する**ためにも予防接種をお勧めします。

風疹の予防接種は、はしか（麻疹）も一緒に予防できる麻疹風疹混合（MR）ワクチンで受けることをお勧めします。また、予防接種法に基づかない予防接種の費用は全額自己負担になります。詳しいことは、かかりつけの医療機関へお問い合わせ下さい。

※本内容は、国立感染症研究所「風疹 Q&A（2012 年改訂版）」を参考に作成しています。



第 1 期：1 歳児

第 2 期：小学校入学前 1 年間の小児